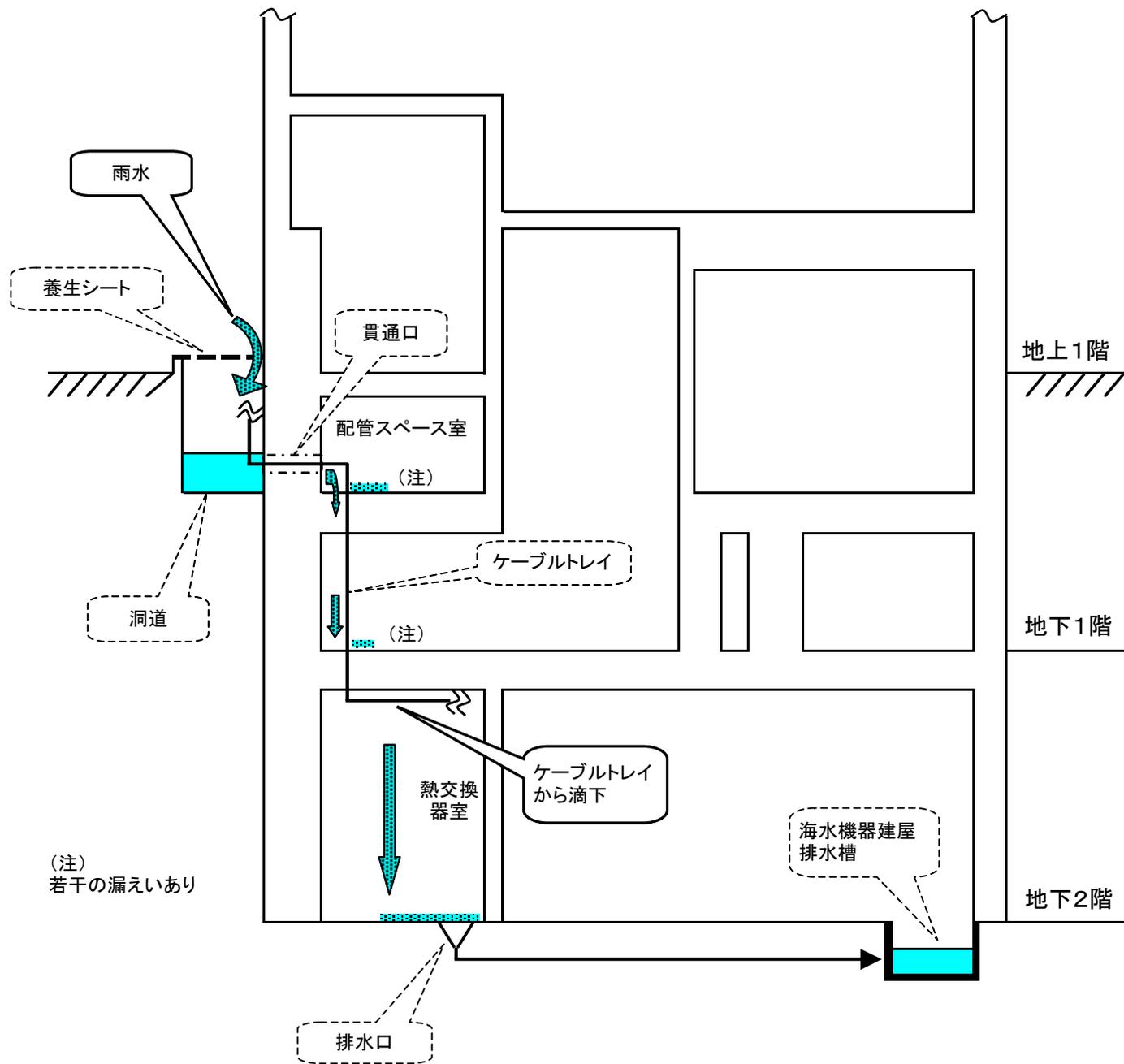


区分：

号機	1号機	
件名	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の1号機において、平成20年10月27日午前9時55分頃、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋*1地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認しました。</p> <p>(原因) 調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ*2内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかりました。 ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定しております。</p> <p>(安全性、外部への影響) 海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでおりません。</p> <p>*1 海水熱交換器建屋 原子炉建屋、タービン建屋内で使用する機器の冷却水を、海水で熱交換し冷やすための機器を設置している建屋。</p> <p>*2 ケーブルトレンチ 各種電源の動力・制御ケーブルを収納する鉄筋コンクリート製の器(細長い溝)。</p>	
安全上の重要度/損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u>	<損傷の程度> 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中
対応状況	海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施しました。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水しました。 今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善します。また、今回雨水が流入したことにより、海水系の弁の現場制御盤等の一部に水がかかりましたが、今後これらの設備についても点検を実施します。	



1号機 海水熱交換器建屋における雨水の流入経路